

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年03月10日

計画の名称	神戸都心・ウォーターフロント地区都市再生整備計画												
計画の期間	平成28年度～平成30年度(3年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	神戸市												
計画の目標	<p>大目標：「港都 神戸」の創生をめざし、都心・ウォーターフロントの都市機能の形成を図る</p> <p>目標1 快適な自転車の回遊ネットワークの形成</p> <p>目標2 まちのにぎわいづくり</p> <p>コミュニティサイクルの導入及び三宮中央通り・三宮駐車場地下通路のリニューアルによる回遊性の向上を図るとともに、三宮プラッツなどの広場の整備や旧居留地における魅力的な夜間景観などによるまちのにぎわいづくりを図る。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	172	A	172	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H26当初)		(H30末)
1	<p>・より多くのコミュニティサイクルの利用を目指す。</p> <p>コミュニティサイクルの利用回数を導入する自転車台数と運営日数で除した数値(1年間の日平均値)</p>	0(回/台・日)	(回/台・日)	1(回/台・日)
2	<p>・コミュニティサイクルのポート数の充実を目指す。</p> <p>道路上のコミュニティサイクルポートと民有地のコミュニティサイクルポートの総数</p>	0(箇所)	(箇所)	15(箇所)
3	<p>・にぎわい空間としての三宮プラッツの認知度向上を目指す。</p> <p>三宮中央通り周辺の歩行人のうち、三宮プラッツの存在を知っている人の割合(%)</p>	16(%)	(%)	27(%)
4	<p>・三宮中央通り付近の歩行者通行量の増加を目指す。</p> <p>三宮中央通りの三宮プラッツ付近(地上及び地下)を通行する合計人数(9月末頃の休日、7:00~19:00)</p>	14000(人/12h)	(人/12h)	14500(人/12h)

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																						
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
		種別	種別	対象	間接							H28	H29	H30	H31	R02						
		一体的に実施することにより期待される効果																				
		備考																				
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	神戸市	直接	神戸市	—	—	神戸都心・ウォーターフロント地区都市再生整備計画事業	110ha	神戸市	■	■	■			172	-	—			
												小計						172				
											合計						172					

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 神戸市建設局道路部計画課 神戸市都市局都心再整備本部	事後評価の実施時期 令和元年度	
	公表の方法 市のホームページに掲載、都市局計画部指導課窓口で閲覧	

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	平成28～29年度に三宮中央通り地下通路等の利活用社会実験として実施した三宮プラッツの音楽イベントなどにより都心に新たなにぎわい拠点が創出され、平成27年3月より運営してきたコミュニティサイクルが便利な移動手段として市民に受け入れられたことにより、「三宮プラッツの認知度(%)」は向上し、「コミュニティサイクル利用回数(回/台・日)」及び「コミュニティサイクルポート数(箇所)」は目標値を達成した。 また、「三宮中央通りの歩行者通行量(人/12h)」については、評価時点で日常的な通行量の増加には至らなかったが、令和元年度末に工事完了を予定している三宮プラッツのリニューアルやリニューアル後の空間活用に向けた取り組みにより、今後、目標値達成が見込まれる。 よって、本事業はまちのにぎわいづくりや快適な自転車の回遊ネットワークの形成に寄与したと考える。
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	平成27年3月より運営してきたコミュニティサイクル事業や平成28～29年度に三宮中央通り地下通路等の利活用社会実験として実施した三宮プラッツ音楽イベントにより都心に新たなにぎわいが創出され、三宮プラッツの工事完了後は更なるにぎわいの創出が見込まれるため、都心の活力や魅力向上に寄与した。

○特記事項（今後の方針等）

神戸都心・ウォーターフロント地区の次期計画（R1～R5）において、更なる都心三宮再整備をすすめるべく、神戸の佇まいとデザインが感じられ、誰もが使いやすい交通手段が整った、歩く人中心のまちの実現に資するまちづくりを進めるとともに、道路占用許可の特例制度を活用した官民連携による持続的なにぎわいの創出を図り、まちの魅力向上に努める。  
 三宮プラッツについては、更なるにぎわいの創出に向け、官民連携による日常的なカフェ・音楽イベントや令和元年度に実験的に実施したストリートピアノなどの空間活用に向けた取組を進めることで、にぎわいをエリア全体に波及させていく。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	コミュニティサイクル利用回数（回転率） 単位：回/台・日	
	最終目標値	1（回/台・日）
	最終実績値	1（回/台・日）
2	コミュニティサイクルポート数 単位：箇所	
	最終目標値	15（箇所）
	最終実績値	15（箇所）
3	三宮プラッツの認知度 単位：%	
	最終目標値	27（%）
	最終実績値	25（%）
4	三宮中央通りの歩行者通行量 単位：人/12h	
	最終目標値	14500（人/12h）
	最終実績値	10973（人/12h）

都市再生整備計画 事後評価シート  
神戸都心・ウォーターフロント地区

令和元年12月

兵庫県神戸市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	兵庫県	市町村名	神戸市	地区名	神戸都心・ウォーターフロント地区	面積	110.0ha						
交付期間	平成28年度～平成30年度		事後評価実施時期	令和元年度		交付対象事業費	171.5百万円	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	事業名												
	※当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【地域性活基盤施設(広場)】三宮ブラッツのリニューアル										
		提案事業	【事業活用調査】三宮中央通り地下通路等の利活用社会実験										
	※当初計画から削除した事業	基幹事業	1.【高質空間形成施設(緑化施設等)】地下通路のリニューアル 2.【高質空間形成施設(緑化施設等)】旧居留地夜間景観形成事業		1.庁内及び関係機関との整備内容や運用方法等の事業調整に時間を要したため。 2.維持補修の一環として、神戸市単独費で順次行う事としたため。		1.三宮中央通りの歩行者通行量(人/12h)の下方修正:(変更前)16000→(変更後)14500 2.影響なし						
	新たに追加した事業	基幹事業	なし										
		提案事業	なし										
交付期間の変更	当初	平成28年度～平成30年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	なし		なし									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
	指標1	コミュニティサイクル利用回数(回転車)	回/台・日	0	H25	1.0	H30	1.7 (H30)	○	あり なし	平成27年3月より運営してきたコミュニティサイクル事業の開始から4年が経ち、徐々にコミュニティサイクルの認知度が高まったことや、三宮ブラッツ(音楽イベント等実施)、其合南54号線(歩道拡幅・ベンチ設置)、KOBEL/アーケード、JR元町駅東口のまちなか拠点(ベンチ設置)等により都心に新たなにぎわい拠点が創出された結果、便利な移動手段として市民に受け入れられたため。	R2.4頃	
	指標2	コミュニティサイクルポート数	箇所	0	H25	15	H30	15 (H30)	○	あり なし	快適な自転車の回遊ネットワークの形成に寄与すべく、認知度の高まりに応じて人が集まりやすい箇所への自転車のアクセスを考慮しポートを整備していった結果、目標数に達した。	R2.4頃	
	指標3	三宮ブラッツの認知度	%	16	H25	27	H30	25 (R1.7)	△	あり なし	平成28～29年度に実施した三宮ブラッツの利活用社会実験(音楽イベント等)により新たなにぎわいが創出された事により、三宮ブラッツの認知度が向上したと考える。また、三宮ブラッツのリニューアル工事により、今後更なる認知度の向上が見込まれる。	R2.8頃	
	指標4	三宮中央通りの歩行者通行量	人/12h	14,000	H25	14,500	H30	10,973 (R1.7)	×	あり なし	平成28～29年度に実施した三宮ブラッツの利活用社会実験等(音楽イベント等)により新たなにぎわいが創出され、一時的には三宮中央通りの歩行者通行量増に寄与したが、日常的な通行量増には至らなかった。 評価値(R1.7)が従前値よりも減少しているが、地区内商業施設の動向や路線値の上昇を考慮すると、計測時の天候による影響によるものと推測される。 現在(R1.7)、三宮ブラッツでは、リニューアル工事及び工事完了に合わせた民間事業者による日常的な音楽イベント・カフェなどのまちのにぎわい創出に繋がる活用に向けた取組みを行っており、今後、歩行者通行量の増加が見込まれる。	R2.8頃	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期				
その他の数値指標1	コミュニティサイクルポート(計画区域内の道路占用許可の特例制度を活用した4ポート)の貸出・返却台数	台/年	22,804	H27			50,750 (H30)			道路占用許可の特例制度を活用し、計画エリア内に4つのポートを新設したことにより、神戸都心・ウォーターフロント地区の回遊性が向上し、コミュニティサイクルを利用した来訪者が増加した。	R2.4頃		
4) 定性的な効果発現状況	平成27年3月より運営してきたコミュニティサイクル事業や平成28～29年度に利活用社会実験として実施した三宮ブラッツ音楽イベントにより都心に新たなにぎわいが創出され、三宮ブラッツの工事完了後は更なるにぎわいの創出が見込まれたため、都心の活力や魅力向上に寄与している。												
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス	地元協議会と行政が連携し意見交換を行い、施策・事業検討に取り組んだ。					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 引き続き、意見交換を行い、官民連携によるまちづくりを進めていく。	
	持続的なまちづくり体制の構築	三宮地下公共空間利活用実行委員会準備会の設立・開催					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 頂いたご意見をもとに、官民連携した持続的な「にぎわい」や「いこい」の創出に向けた取組みを進めていく。	

※・神戸都心・ウォーターフロント地区は、平成26年度に道路占用許可の特例制度の取組のみの計画としてスタートし、平成28年1月の第1回変更で事業を計画に追加して、平成28年度より都市再生整備計画事業を実施した。(計画期間:H26～H30 交付期間:H28～H30)  
 上表の当初計画は、平成28年1月の第1回変更計画である。  
 ・本計画の基幹事業である「三宮ブラッツのリニューアル」の工事が平成30年度から令和元年度に繰越となったため、各指標の評価値は現時点の計測値とし、工事完了後の令和2年に評価値のフォローアップを行い、確定値を求める。

## 様式2-2 地区の概要

神戸都心・ウォーターフロント地区(兵庫県神戸市) 都市再生整備計画事業の成果概要					
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標:「港都 神戸」の創生をめざし、都心・ウォーターフロントの都市機能の形成を図る。 目標1:快適な自転車の回遊ネットワークの形成 目標2:まちのにぎわいづくり	コミュニティサイクル利用回数(回転率)	単位:回/台・日	0 H25	1 H30	1.7 H30
	コミュニティサイクルポート数	単位:箇所	0 H25	15 H30	15 H30
	三宮プラッツの認知度	単位:%	16 H25	27 H30	25 R1.7
	三宮中央通りの歩行者通行量	単位:人/12h	14,000 H25	14,500 H30	10,973 R1.7

  

**■基幹事業**  
 地域生活基盤施設  
 (広場:三宮プラッツのリニューアル)  
**○関連事業**  
 地下道路のリニューアル  
**□提案事業**  
 事業活用調査  
 (三宮中央通り地下道路等の活用社会実験)

**凡例**  
 都市再生整備計画区域  
 基幹事業  
 提案事業  
 関連事業  
● コミュニティサイクルポート  
 (自転車駐車器具)  
 その他の自転車・駐車場  
 活用施策

三宮プラッツのリニューアル(整備イメージ)

コミュニティサイクルポート  
(道路占用許可の特例制度)

活用社会実験(三宮プラッツ音楽イベント)

まちの課題の変化	施設の整備・イベントの実施等を行ったことにより、都心の新たなにぎわいの創出や回遊性の向上に寄与するなど一定の効果は得られた。今後は次期計画により、更なる都心の活力や魅力向上に努めていく。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	神戸都心・ウォーターフロント地区の次期計画(R1~R5)において、更なる都心三宮再整備をすすめるべく、神戸の佇まいとデザインが感じられ、誰もが使いやすい交通手段が整った、歩く人中心のまちの実現に資するまちづくりを進めるとともに、道路占用許可の特例制度を活用した官民連携による持続的なにぎわいの創出を図り、まちの魅力向上に努める。三宮プラッツについては、更なるにぎわいの創出に向け、官民連携による日常的なカフェ・音楽イベントや令和元年度に実験的に実施したストリートピアノなどの空間活用に向けた取組を進めることで、にぎわいをエリア全体に波及させていく。

※・神戸都心・ウォーターフロント地区は、平成26年度に道路占用許可の特例制度の取組のみの計画としてスタートし、平成28年1月の第1回変更で事業を計画に追加して、平成28年度より都市再生整備計画事業を実施した。(計画期間:H26~H30 交付期間:H28~H30)  
 ・本計画の基幹事業である「三宮プラッツのリニューアル」の工事が平成30年度から令和元年度に繰越となったため、各指標の評価値は現時点の計測値とし、工事完了後の令和2年に評価値のフォローアップを行い、確定値を求める。